



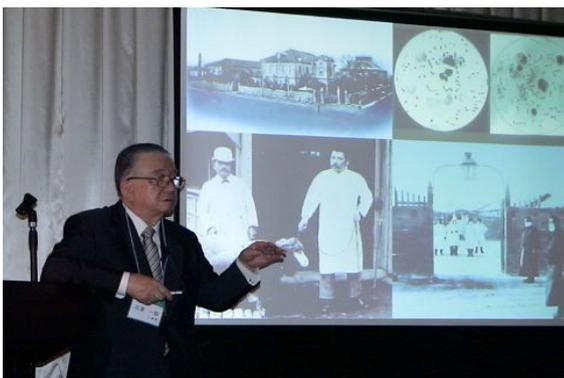
講演会・定期総会終了

栃木県支部支部長 滝 龍雄

去る7月4日、宇都宮市のホテルニューイタヤに於いて、約40名の会員が参加して栃木県支部講演会と定期総会が開催された。

講演会は明治製菓名誉顧問・学校法人北里研究所相談役の北里一郎先生に「北里大学の拠って立つ基盤；北里柴三郎の業績と人となり」と題して約一時間御講演頂いた。北里一郎先生は、北里柴三郎の直系の孫にあたり、北里柴三郎死去後間もなく生まれ、柴三郎の生まれ変わりと言われていています。慶応大学工学部を卒業後、明治製菓に入社し、社長、会長を歴任された。

北里先生は、熊本県の大分県境での北里柴三郎の生い立ちや細菌学分野における偉大な世界的業績や日本での予防医学の確立と日本医師会の創立、福澤諭吉の恩に報いるために慶応大学医学部を創った事などのエピソードをユーモアを交えて紹介され、北里大学に学びながらも、学祖・北里柴三郎を良く理解していなかった参加者に大きな感動を与えてくれた。



(講演中の北里一郎先生)

講演会終了後、定期総会に移り、先ず来賓として出席頂いた北里大学同窓会・鈴木達夫理事（北里衛生科学専門学校校長）から北里大学の現状の紹介、明治村で開催される旧北里研究所本館移築30周年記念「北里柴三郎記念展」（10月16日～31日）について説明があり、その後、定期総会となった。

総会は、議長選出の後、支部長より2008年7月19日より2010年7月4日までの活動報告・会計報告があった。

- 2008年7月19日 総会：新支部長選出
- 2008年9月27日 臨時理事会(役員会)
- 2008年10月26日 臨時総会：規約改正
- 2009年1月1日 支部会ニュース創刊号発行
- 2009年2月15日 第1回運営委員会
- 2009年6月7日 第2回運営委員会
- 2009年6月20日 第3回運営委員会
- 2009年6月27日 第4回運営委員会
- 2009年7月10日 支部会ニュース№2発行
- 2009年7月19日 第5回運営委員会
- 2009年9月5日 第6回運営委員会
- 2009年9月26日 養老孟司先生公開講演会
- 2009年12月13日 第7回運営委員会
- 2010年1月1日 支部会ニュース№3発行
- 2010年2月20日 第8回運営委員会
- 2010年4月17日 第9回運営委員会
- 2010年5月1日 支部会ニュース№4発行
- 2010年6月12日 第10回運営委員会
- 2010年7月4日 定期総会・北里一郎先生講演会

次いで、以下の通り会計報告があった。

《収入の部》

単位：円

前年度繰越金	1,334,843	
北里大学同窓会補助	1,100,000	講演会補助
北里大学同窓会補助	38,400	通信費
支部会費振込	3,000	1名
パンフレット広告料	80,000	
講演会懇親会会費	180,000	
預金利子	878	下期・上期
合計	2,737,121	

《支出の部》

単位：円

平成20年度総会費	36,245	2008.10.26
養老先生講演会	1,691,128	2009.9.26
支部ニュース経費	209,107	作成・郵送
ハガキ代	42,100	
次年度繰越金	758,541	
合計	2,737,121	

次年度繰越金が大きく減少した点に関して、支部長より、活動を再開するに当たり、同窓会支部参加の意思確認やアンケート調査や、養老先生講演会会場をホテルとしたため会場費が高んだことなどと説明があり、活動報告、会計報告は満場一致で承認された。

更に規約の改定案が提出され、原案通り承認された。

次いで、今後2年間の栃木県支部の活動を担う新役員の選出に移り、原案通り以下の通り承認された。

支部長：滝 龍雄

副支部長：岸 善明、福田容子

運営委員：磯 恵美子、新島健司、鈴木一夫、山口正利、石川信一、滝田まり子、福田哲夫、芝田周平、吉澤浩子、齋藤けさよ、戸田麻子、山口久恵、天谷仁一、飯野 望、長谷川美恵子

運営委員兼事務局：塚原訓子、田村久美子、和貝和子、篠崎和実、廣瀬英俊、松本典子、川又圭太

監 査：須釜安正、富永英夫

新役員が決まり、今後2年間の活動計画、予算について、新支部長より提案があり、承認された。

総会后、同上で記念写真を撮影後、懇親会に移り、北里一郎先生、同窓会本部の鈴木理事も参加され、約二時間懇親の宴を楽しみ、散会した。



(総会后に参加者全員で記念写真)

活動方針と活動計画

- 方針**
- 1：多くの会員の協力を得、地道な活動を通じて多くの会員が参加できるようにする。
 - 2：同窓会本部の協力を得、会員には経済的負担をかけない。

- 活動計画**
- 1：公開講演会、生涯教育に関連したシンポジウム等を企画する。
 - 2：支部会ニュース等の発行等により広報活動を積極的に行う。

今期の予算：同窓会本部よりの援助・会計方針

同窓会本部よりの援助

- 1：活動再開支部援助金 100,000 円
- 2：総会開催援助金 100,000 円
- 3：通信費援助金 (年2回)
- 4：公開講演会援助金 最大 100,000 円

会計方針

- 1：企画は独立採算とする
- 2：無理に援助金を増やす事を目的としない
- 3：宣伝には極力効果的かつ安価な方法を模索
- 4：支部会費は当分徴収しないで運営できるよう努力する

北里大学同窓会支部懇談会報告

栃木県支部支部長 滝 龍雄

去る10月23日、岩手県盛岡市で北里大学同窓支部長会議と支部懇談会が開催されました。

支部懇談会では、各支部の活動報告と要望等を述べる会ですが、栃木県支部として、

- ①過去2年間の活動報告。
- ②定期総会で新運営委員が選出され、今後運営委員会を活発にして、HPを開設すること。
- ③今後二年間の活動予定：来年度の講演会及び再来年の定期総会・講演会。

を報告し、又本部に対する要望として、学位授与式の際に同窓会からの記念品とし卒業生に贈呈しているフォト・スタンドの評判が良いので、出来るだけ早く、出来るだけ安く作って一般の希望者に配布して欲しいと述べた。

支部懇談会での話題として、県別の本部同窓会会費納入率が報告されました。全体の納入率は10%弱で、栃木県は12.5%でした。平均より高い状況です。

「特別奨励賞」受賞候補者の募集；

推薦締切りは12月末日ですが、毎年募集がありますので、受賞者として適切な方が居ましたら支部長までお知らせ下さい。

新運営委員のご挨拶

陸上部の箱根駅伝挑戦を励みに

栃木県支部 支部長 滝 龍雄

皆さんは新春の1月2、3日に開催される「東京箱根間往復大学駅伝競走(通称「箱根駅伝」)」をご存知ですか?箱根駅伝は関東学生陸上競技連盟が主催する駅伝で、前年度10位までの10校と、予選会の上位10校(学連選抜1チームを含む)の計20校が東京-箱根間の往復約218kmを走ります。出場するためには、前年度にシード権を得ておくか、予選会で上位9校に入

る必要があります。北里大学の陸上部は残念ながらまだ一度も箱根を走っていませんが、予選会にはここ数年挑戦しています。成績は

2007年10月(第84回) 42校中39位(初参加)

2008年10月(第85回) 45校中41位

2009年10月(第86回) 47校中44位

です。国公立大学を除くと、私立ではほぼゲッパ(北海道弁でビリ)でした。今年度は予選会の基準タイムが変更になり不参加でした。北里大学ではスポーツ推薦はなく、また学生数も多くなく、更に講義・実習が大変だとなると、予選会へ参加するための10名以上を確保することも大変です。

講義・実習の合間の時間を使い、箱根駅伝の本番に挑戦すべく、日々努力をしている陸上部員を精一杯応援し、沿道での応援を経験したいですね。

栃木県支部も陸上部を見習い、地道に粘り強く活動を続けていきたいと思っていますので、ご協力をお願いします。

“声だけでつながるほんのちょっとした居場所”
それがチャイルドラインです



副会長 福田 容子
以前自己紹介文の中で少し触れましたが、今ライフワークのメインになっているボランティアの活動について書きます。

“NPO 法人チャイルドラインとちぎ”を栃木県に立ち上げて今年で十年目を

迎え、9月には十周年記念事業として基調講演とシンポジウム、記念誌を発行いたしました。

学校などでいじめ問題が深刻化し社会問題になっていた90年代、子どもをサポートする手立ては何かないだろうかと考えていた頃、イギリスに「チャイルドライン」という子どもの声を聴く電話の活動があることを知り、チャイルドライン支援センターの代表理事をつとめられた俳優の故牟田悌三さんを含む世田谷の市民団体5人が視察に出かけ、研修を受け1998年日本で初めて世田谷にチャイルドラインが誕生しました。現在では41都道府県69団体(2010年7月現在)が活動しています。

栃木県では2001年2月に設立し2004年5月特定非営利活動法人として認証されました。設立した当時栃木県では、黒磯北中での教師殺傷事件など青少年による事件や不登校やいじめ、十代の妊娠人工中絶なども大変多く、問題になっているときでした。現在、福田県知事、佐藤宇都宮市長、作新学院大学伊達教授、

小林弁護士、丸山栃木県教育相談部長の5人の先生に顧問としてご支援いただき、栃木県としても支援いただいています。

電話で子どもの声を受け止める活動は、1970年にはヨーロッパを中心に始まっていました。現在世界では、ヨーロッパ、アメリカ大陸、アジア、オセアニア、アフリカ等、多くの国に「子どものための電話」が開設されています。2003年国境を越えた組織CHI(CHILDHELPLINE INTERNATIONAL)が設立され、約150か国が加盟しています。

「チャイルドライン」は、18歳までの子どもがかける専用の電話です。お説教や指示はしません。子どもの声に耳を傾け、気持ちに寄り添い受け止めます。電話をかけてきた子どもは、自分自身の気持ちや、抱えている困難について話すことで心を開放し、ほっとしたり、混乱した感情を整理したり、自分自身を癒したり、自分の気持ちを確かめたりします。自分を受け止めてもらえた、認めてもらえた、ということで心が落ち着き、自尊心を取り戻したり、人間や社会への不信感が和らぐこともあるかもしれません。会話の中で、なにかきっかけをつかんだり、新たな一歩を踏み出すこともあると思います。ただ、なんとなく誰かとつながっていたい、そんな気持ちに付き合うこともあります。問題解決を目的とはせず、「気持ち」「心」を聴きながら一緒に考えることを大切にしている電話です。

「声だけでつながる、ほんのちょっとした居場所」それがチャイルドラインです。

現在全国のチャイルドラインが連携し、毎日16:00~21:00フリーダイヤルでかけられる電話になりました。今では子どもたちにも周知され、電話件数も昨年は、栃木県では8千件以上、全国では24万7千件以上の電話がかかっています。

何の準備もないところから「子どもたちのためにやるしかない！」ただその気持ちだけで夢中で走ってきた10年でした。多くの方に支えられ、たくさんのご支援を受けてやっとここまで来ることができました。そのお心に感謝しながら、お応えできますよう今後も頑張っていきたいと思っています。



P.S. 電話を受けるボランティア、支援会員を募集しています。どうぞよろしく!!

NPO 法人チャイルドラインとちぎ
副理事長 福田容子

職場自慢

栃木県立がんセンター薬剤部

磯 恵美子

運営委員として、滝支部長始め他の運営委員の方々
と協力して支部活動がスムーズに出来るよう努めたい
と思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

今回は私の「職場自慢」というか「部員（メンバー）
自慢」をさせていただきます。

私は栃木県職員なので、薬剤師であっても行政職、
研究職、医療職・・・等多くの職場に配属され、病院薬剤
師は3病院でわずか19名しかいません。そして概ね3
～5年で人事異動があります。毎年、今の時期は身上
書なるものを提出し、所属長ヒアリングで自分の想い
を話しますが、何だか落ち着かない時期です。

私は今の職場に配属されて3年目となりました。栃
木県職員に採用されてからずっと「病院勤務」を希望
していたので、平成11年に病院への異動が決まった
時は大喜びでした。それから現在に至るまで、大好き
な病院薬剤師として毎日を過ごしているので心身とも
に充実し大変恵まれていると思います。

「都道府県がん診療連携拠点病院」としての当センタ
ーは薬剤師も高度かつ専門的な知識が必要とされ、仕
事量も多く年休もなかなか取れないので、「職員（部員）
は皆、勉強熱心だし不平不満も言わず身体も壊さず本
当に良くやっているなあ」と感心しています。

業務のほんの一例ですが今年度から始まった「(薬学
部5年生)実務実習」で当センターは3期合計9名の
学生を受け入れることになり、現在2期を終了したと
ころです。

我が薬剤部には実務実習指導薬剤師の認定を受けた
者が2名います。私も研修に行かせていただき認定を
受けた1人ですが、もう1人の、実習担当として直接
指導に当たったYさんの豊富な知識と指導力は本当に
素晴らしいです。若いのに(若いから?)すごいなあ、
と感心します。2期(1期11週)6名を、めまぐるし
い日常業務の中で指導できたのは部長始め部員全員の
努力と協力のたまものです。この実務実習を機に卒後、
栃木県職員希望者が増えるといい、と思います。

我が薬剤部は部長以外私より皆若いのですが、本当
に覚えも早く積極的だし性格も良く、私は教えられる
ことばかりです。私の職場を誇りに思うとともに、素
晴らしいメンバーと巡り会えた幸せに感謝します。

そして最後に、自分へも励ましの一言!「もう3年
目のだから、もっとしっかりしなさい!」

初め+まして

芝田 周平

昔々の話です。大学1年時にワンダーフォーゲル部
に入りました。新人養成合宿で打ち上げのキャンプフ
ァイヤー(奥多摩)に訪れた滝先輩(当時自治医科大学
に勤務していましたが、当時から合宿には良く顔を出
してくれる大先輩だと聞きました)に、「僕の出身は栃
木県の上三川町です。実家は酪農をやってます」等の
話をしました。30年以上も前のこの話を憶えていた滝
先輩から突然電話が掛かってきて「今度北里大学同窓
会栃木県支部の支部長をやることになったから一緒に、
やろう」との大変ありがたいお言葉を頂き、運営委員
を引き受けることになりました。現在運営委員2期目
になります。12V(獣医師)の芝田周平です。どうぞ
よろしくお願ひします。

北里大学同窓会栃木県支部運営委員に参加させてい
ただき、良かったな～と思うことがあります。自分と
は職種の違う多くの人たちとお近づきになれたこと、
そしてためになる講演会開催を機に昔懐かしい相模原
キャンパス時代の話をしなごら年に1度の楽しい懇親
会ができることです。ぜひ同窓会へ参加をして楽しん
で貰いたいと思います。

さて、少々自己紹介をさせていただきます。私は栃
木県に勤務している地方公務員です。勤務先は保健所
(狂犬病予防業務、食品衛生業務)、食肉検査所(と畜
場でと殺解体した牛や豚などの食肉が安全で衛生的で
人の食用として適当であるかの検査業務)、家畜保健衛
生所(家畜の疾病予防やまん延防止などの業務)、畜産
試験場(主に豚や鶏の試験研究)、農業大学校(畜産コ
ースの学生指導、家畜人工授精師免許取得指導)等を
渡り歩き、現在は県南家畜保健衛生所に勤務していま
す。家畜保健衛生所は何をしているところかと言いま
すと主な仕事は、BSE、高病原性鳥インフルエンザ、
今年宮崎県で発生した口蹄疫など、家畜のいろいろな
病気の検査や発生予防、まん延防止が大きなウェー
トを占めますが、他にも動物用医薬品の正しい使い方
に関する知識・技術の啓発、普及さらには畜産環境対策
の指導なども行っています。もっと詳しく家畜保健衛
生所のことが知りたい人は、栃木県県南家畜保健衛生
所でウェブ検索して下さい。家畜や畜産に関すること
で質問等があれば御連絡ください。

E-mail shibat01@pref.tochigi.lg.jp

TEL 0282-27-3611

初めまして

飯野 望

今期から運営委員を務めさせて頂くことになった飯
野です。どうぞ北里大学同窓生の方々宜しくお願ひし

ます。私は、昭和 60 年 3 月に衛生学部（現在は医療衛生学部）衛生技術学科を卒業した 20 回生です。卒業後、宇都宮市内の私立高校で教員として 2 年間勤めた後、栃木県職員として約 24 年間勤務し、現在は栃木県立がんセンターの臨床検査部で主に遺伝子検査を行っています。

ところで、「遺伝子検査」って何やっているの？とよく聞かれます。例えば、「がん」にも色々な種類がありますが、分子標的薬が効きやすいタイプの「がん」であるかどうかを事前に調べることも可能になってきました。ターゲットの「がん」に特有な遺伝子配列が分かっていたら、その配列に相補的なプライマーと呼ばれる探索子のようなものを用いて PCR 検査で同定し、薬が効くタイプの融合遺伝子を持っているかどうか分かるようになってきました。また、抗がん剤の副作用を回避するために、自分が薬物代謝酵素のどのタイプを持っているか投与前に調べることも出来ます。その結果によっては抗がん剤を最大量使えるか、あるいは他の治療法に切り替えるべきかが分かるのです。「オーダーメイド医療」と呼ばれる時代の到来だと思います。最近では形態学的検査よりも数カ月早く再発時期を見つけるために、ある遺伝子を用いて mRNA レベルでどのくらい増えているか PCR 定量検査を行い、早期に治療出来るよう情報を提供するなど新しい検査にもトライアルしています。一見、遺伝子検査は万能な検査のように思える方も多いかと思いますが、一方でプライマーの設計で引っかかってこない「がん」も存在しますし、また判定の難しい症例もあります。しかし、こうした新しい検査分野が参入したことで、若き技師の興味を駆り立てていることに一役買うことが出来たらいいなあと思っています。是非北里の卒業生の中でやってみたいと思われる方は栃木県職の試験に応募して下さい。優しい？先輩がお待ちしております。

仕事以外では、最近、栃木県近郊の低山などをハイキングすることにはまっています。若い頃は都会に行くと血が湧き踊る？方でしたが、年齢も手伝ってか自然の中に目が向くようになりました。尾瀬国立公園では、湿原の美しさ、可憐な高山植物、白樺やブナの生い茂る豊かな森に感動しました。今夏訪れた日光では、竜頭の滝駐車場から戦場ヶ原、湯滝を通過して湯元までを歩きました。奥日光の湿原や森の美しさ、加えて溪流の涼やかなせせらぎに誰もが気持ちよさを感じることと思います。木道が敷かれている場所も多いため足場も良いのですが、途中湯滝から急斜面を上る箇所がありますので、帰りには硫黄を源泉とした湯元温泉で足の疲れをとっていかれるのも良いでしょう。巷で「山ガール」なる現象が噂されていますが、今月は日本で一番入山者数が多いという都会の山「高尾山」で「山ガール」のファッションを観察に行ってきます。体力

に自信がないので、ハイキングレベルの低山を選ばざるを得ないのですが、いつかは男体山、白根山に挑戦し、最後は富士山になって無謀にも考えています。

こんな私ですが、同窓生の皆様、今後とも宜しくお願ひします。

はじめまして

長谷川恵美子

出身は茨城県なのですが、主人の仕事の関係で住み始めて以来、今年で 2 年。すっかり栃木県人となりました。

今期、大学時代の友人、磯恵美子さんからの熱いお誘いで運営委員としてお手伝いをさせていただきます。よろしくお願ひします。

先日、卒業以来約 30 年ぶりに白金キャンパスへ行く機会がありました。綺麗に整備され、昔の面影はありませんでしたし、もちろん、毎日剣道部の練習で汗を流した思い出の武道場も今は無くなっており、残念。寂しいなあ。。

気を取り直して散策を始めると、近所の商店街には 30 年前の姿のままで営業している団子屋さんや豆腐屋さんを発見。思わずお店のおじさんと昔話に花を咲かせてしまいました。懐かしい！

さらに恵比寿方面に住んでいたアパートを探しながら何度も路地を曲がり歩いて行くと、「ここだ！」アパートはオシャレなお家になっていましたが、表札には当時の大家さんの名前があり、思わず隣部屋に住んでいた友人に写メールを送ってしまいました。感激。

ふと、そばにあった大きなビルが目に入りました。近づいてみるとそこにはなんと、恵比寿ガーデンプレイス！昔は恵比寿ビール工場でしたよね。ガーデンプレイスの広場でバカラ社製のシャンデリアを眺めながら、学生時代の甘酸っぱい思い出に浸った楽しい時間でした。

実は、この日は娘の入学試験でした。

来春には北里大学の後輩となることが決まったため、私の白金散策の機会も増えそうです。

会員の近況、その他

はじめまして。小野崎智子 (1986PP19025) です。

運営委員の山内久恵さんとは、相模原の教養部時代仲良くしていただいていたいました。

気の利いたことを報告したいところですが、とりあえずのお便りです。

(卒業後)

1986 年 北里大学薬学部薬学科を卒業

1986 年 栄研化学株式会社に入社

製造部 (RIA、ELISA を用いた体外診断薬関

連)に配属(大田原市)、実家(矢板市)に帰る
1991年 品質管理部に異動(体内診断薬)
1993年 結婚(主人は東京理科大学薬学部卒)、
新居に引越し
1994年 長女誕生
2000年 長男誕生
2006年 またまた新居に引越し
2007年 改正薬事法対応、ISO取得準備に忙しい日々
品質保証部に異動(大田原市)
2008年 信頼性保証部に異動(大田原市)
(家族構成)

主人は藤永製薬(日光市)で検査課の課長らしい
長女が宇都宮中央女子高等学校1年生(来年は理系コ
ースらしい)

長男が矢板小学校4年生(弱小サッカー部でレギュラ
ー5番MFらしい)

私(なんだかんで忙しい)

(ひとこと)昨年、薬学部の岡林先生を偲ぶ会に出席
しました。あしたぼの会で顧問をしていただいていた
ました。二十年ぶりに白金を訪問し、その変貌振りにび
っくりです。お集まりの皆さんと心温まる時間を過ご
すことが出来ました。

宇都宮済生会病院

外科 牛久秀樹

近況報告です。

同窓会栃木県支部の存在を知り、近況報告をさせてい
ただきます。

私は第31回生の牛久秀樹と申します。北里大学にて2
年の研修医を経て、同大学一般外科に入局し、現在5
年目となります。平成21年に出向として済生会宇都
宮病院に来させて頂き、同病院2年目となります。出
身は栃木県鹿沼市であり、県立栃木高校を卒業し、北
里大学医学部に入学いたしました。現在は外科として
修業中であり、今後ともよろしくお願い致します。

いつもお世話になっています。

先日、調剤薬局をやめた不良薬剤師の大木美智子です。

精神障がい者のボランティア活動を始めて10年以
上になります。今では、知的(発達障がい・ADHD
等)・認知症・介護予防まで幅広く活動しています。
また、栃木県薬物乱用防止指導員や佐野市介護認定審
査員等の仕事とボランティアの区別のつきにくいこと
もしております。仕事とボランティアの肩書きだけで
20以上になります。

その中で、平成25年6月21日開催の「精神保健
福祉ボランティア全国のつどい in とちぎ」開催に向け
まして、寄付のお願いや栃木県内のボランティア同士
のネットワーク作りに取り組んでいます。

資料を添付します。ご一読いただけると幸いです。

平成25年開催決定

第14回

精神保健福祉ボランティア全国のつどい in とちぎ ～ いつだってボランティア

ないないづくしの全国のつどい～

栃木県は、H22年2月26日開催の「第11回精神
保健福祉ボランティア全国のつどい in あいち」に参加
してきました。

今回の代表者会議で、次回開催予定の東京都が、
H23年11月12・13日 国技館開催。

予定より1年遅くなり、栃木県の開催は第15回の
予定が第14回に変更になりました。

栃木県の前にも、後にも開催県が決まらない。つど
いのたすきが途切れそう……。だから決めました。

今まで開催した県の思いや参加した方たちの熱い思
いを途切れさすことなく、受け継いでいくことの大切
さを感じます。

楽しくボランティア活動をしているみんなの笑顔に
会えますように。ないないづくしの栃木県。

参加するボランティアの中からボランティア募集中！
だって、いつだってボランティア

日時 平成25年6月21日(金)13時～(予定)

場所 那須高原 りんどう湖ロイヤルホテル

内容 代表者会議・交流会(The 交流会)

栃木県といえば、那須！！どうぞ、自然あふれる那
須の初夏を楽しんでください。

皆さまのお越しをお待ちしております。



事務局 〒327-0004 佐野市赤坂町144-4

レジデンス赤坂B棟102

メンタルヘルスボランティアグループ フレンド

大木 美智子 電話/FAX 0283-24-7535

メールアドレス mitiko_oki@yahoo.co.jp

ニュース原稿募集中

北里大学同窓会栃木県支部の広報誌である支部会ニ
ュースでは、会員の皆様の交流の場として活用して頂
けるよう、常時原稿を募集しています。内容は問いま
せん。支部長宛お送り下さい。

329-0434 下野市祇園2-24-1 滝 龍雄

e-mail: tatabox@kitasato-u.ac.jp